

松本紘佳プロフィール

1995年生まれ。「非常に大きい才能と極めて巨大な潜在能力を持ち、将来独特な音楽的個性へと成長するだろう。」と7歳にしてザハール・ブロン氏より認められた才能は、9歳でのハンガリーにおけるリサイタル、2006年11歳での第10回ヴィエニャフスキ・リピンスキ国際コンクールジュニア部門における最年少入賞(第2位)を契機に世に知られるようになる。小学6年生であった2007年、第61回全日本学生音楽コンクールにて全部門中の最高得点を得て全国優勝。併せて、第1回津田梅子記念音楽賞、第1回全日本空輸賞、横浜市民賞、兎束賞、東儀賞を受賞。

オーケストラとの協演は2008年以降、東京交響楽団(指揮:大友直人、飯森範親)、神奈川フィルハーモニー管弦楽団(指揮:渡辺一正、松尾葉子)、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(指揮:沼尻竜典)、オーケストラ・アンサンブル金沢(指揮:井上道義)他とサントリーホール大ホール、みなとみらいホール大ホール、神奈川県民ホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、石川県立音楽堂等にて。海外では2008年、リスト室内合奏団とブダペストにて協演。2010年12月にはカールマン・ベルケシュ指揮ジュール・シンフォニー管弦楽団定期演奏会(ハンガリー)にてチャイコフスキー作曲ヴァイオリン協奏曲を、またスロヴァキアでメンデルスゾーン作曲ヴァイオリン協奏曲を演奏する。

2009年4月、津田ホールにてリサイタル開催。同年5月、ユードイ・メニューイン賞をドイツにて受賞(クロンベルクアカデミー)、8月IMA音楽賞受賞、10月テレビ朝日「題名のない音楽会」出演。12月には神童モーツァルトの幼少期ヴァイオリンによる演奏会(国立新美術館)で演奏し注目された。

2010年6月、第19回ABC新人コンサートオーディションにて最年少優勝。

2011年2月、ザ・シンフォニーホールにおける第19回ABCフレッシュ・コンサートでは、シベリウス作曲ヴァイオリン協奏曲を大阪センチュリー交響楽団(指揮:現田茂夫)と協演する。

2009年4月以降、財団法人ヤマハ音楽振興会より音楽奨学支援を受けている。現在横浜市立もえぎ野中学校3年在籍。

7歳より11歳まで高田美穂子氏に師事。11歳より原田幸一郎氏に師事して現在に至る。

アナ・チュマチェンコ、ジェラルド・ブーレ、オレグ・クリサ、レジス・パスキエ、クシトフ・ヴェグジン、ナム・ユム・キム各氏よりマスタークラス他にて指導を受けている。